

本年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一昨年に続き地域活動に制限があり各種会合等が開催できず苦慮されたことも多かったのではないかと拝察いたします。本会におきましても当初の予定通り行うことはできませんでしたが、感染状況を注視しつつ、これまでの形態に工夫を凝らしながら、地域及び関係機関の皆様のご協力により10月以降は円滑に事業を推進できております。令和4年(2022年)は厳しい冬から春の陽気へ転じてゆく年となりますよう願いたしますとともに、皆様の御健勝、御多幸を心より祈念いたします。

熊本市社会福祉協議会北区事務所

福田奈美枝、皆本典代、宮本真理子、西迫浩子、山口忠彰



「校区社協行動計画」策定

熊本市社会福祉協議会では、第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき校区社協行動計画の策定を推進しております。北区におきましては令和元年度に弓削校区(モデル校区)、令和2年度は川上校区・西里校区・北部東校区の3校区で策定されました。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、予定していた座談会手法での意見集約は中止となりアンケート手法による策定となりました。今年度は、楠・楡木・龍田・田原・山本の5校区で取り組まれております。引き続きコロナ禍での策定となりましたが感染対策に努めながら工夫を凝らし、校区社協長をはじめとした校区社協役員の方々のご尽力と地域の皆様からの貴重なご意見をもとに上記5校区の今年度中の策定が進んでおります。

10月26日(火)熊本市北部公民館において「令和3年度北区校区社協会長研修会」を熊本市北区校区社協会長会と熊本市社協北区事務所の共催で開催いたしました。令和2年度に校区社協行動計画を策定されました3校区の社協長(北部東:宮本会長、西里:緒方会長、川上:瀬戸会長)より取り組みをご報告をいただきました。また、「ワールド・カフェ」方式により北区22名の社協長の交流を図りました。



(北部東)宮本主税 会長



(西里)緒方泰英 会長



(川上)瀬戸英昭 会長



ワールド・カフェ方式による交流の様子

テーマ「人の顔が見えるお付き合い」について意見を交わしました

😊 絵顔と元気を届けます 😊



(鹿南中学校生徒さんの作品)

平成24年度より学校の帰りや休日を利用して近所の一人暮らし高齢者や高齢世帯のご自宅を訪問し、声かけや交流を行うジュニアヘルパー養成事業に取り組んでおります。令和2年度～3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、訪問活動ではなく中学生からの絵手紙(メッセージカード)を通して地域の高齢者へ「絵顔と元気」を届ける活動として取り組みました。

前半は、鹿南中学校の1年生により心温まる絵手紙が作成され、鹿南校区の高齢者宅へ民生委員・児童委員さんより配布いただきました。高齢者の皆さんは、突然のプレゼントに大変喜ばれ、「絵手紙を見て毎日元気をもらっています」など感謝の声が寄せられました。後半は、北部中学校の3年生に作成していただいております。

小学校で出前講座を開催しました!

田底小学校

令和3年11月9日(火)熊本市立田底小学校に於いて、総合的な学習での体験活動を目的として4年生、16名を対象に高齢者疑似体験を実施しました。二人組になり歩行や新聞読み、食事の際の動作を体験しました。体験後の発表では、「おじいちゃんやおばあちゃんに優しくしたい」という感想が聞かれました。先生方からも「この体験を通して相手の気持ちになる事、思いやりの気持ちを持つことを学び、貴重な体験となりました。」とのお声がありました。



清水小学校



令和3年12月1日(水)熊本市立清水小学校に於いて、高齢者疑似体験・アイマスク体験・車いす体験を4年生3クラス90名を対象に実施いたしました。担当の先生より「福祉の学習の中で高齢者や車いすの方、目が不自由な方の生活を一部体験することができ、相手の気持ちがよくわかり、他人を思いやる気持ちを持った貴重な体験となりました。今後、何か手助け出来ないかと行動できるようにつながって行きたい」とお話されておりました。子ども達は今回の体験について学習発表会で発表されるそうです。